TAKACOM

取扱説明書
マルチ通報機
ADS-100

このたびは、マルチ通報機 ADS-100 をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

警告 ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。内部の点検･清掃･修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

警告 電源について

電源アダプタはＡＣ１００Ｖの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源アダプタを抜いて点検･清掃してください。
ほこりなどによって、火災・感電の原因になります。

電源コードは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス担当にご連絡ください。

乾電池は正しくお使いください。使い方を間違えると液漏れや破裂することがあります。
- 指定した種類以外の乾電池は使用しないでください。
- 本装置に表示してあるプラス (+)、マイナス (-) の方向を確認して入れてください。
- 乾電池を火の中に投入したり、ショート・分解をしないでください。
- 乾電池を充電しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混用しないでください。
- 液漏れによるトラブルを防ぐため、１年に１回の割合で乾電池を新しいものとご交換ください。
- 乾電池の液が漏れたら、素手でさわらないでください。
- 乾電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

小さなお子さまが乾電池をなめたり、飲み込まないよう、幼児の手の届かないところへ乾電池を置いてください。

警告 設置場所や環境について設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。
そのまま使用すると、火災の原因になります。

警告 こんなときは（対処のしかた）

雷が鳴り出したら、筐体や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

注意 使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

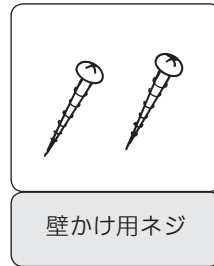
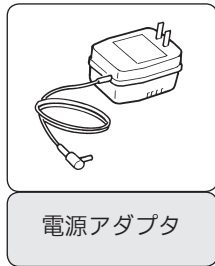
テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
  ＶＣＣＩ－Ｂ
- 本機の仕様は国内向けになっていますので、海外でご利用いただくことはできません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本機の故障･誤動作または不具合により、録音･通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

■セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときには、販売店または当社営業所へご連絡ください。

本体	電源アダプタ	モジュラーコード	壁かけ用ネジ	取扱説明書

■取り付けについて

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご利用になれません。
- 規格の異なる海外ではご利用になれません。

■停電について

停電時でも本装置が利用できるようするためには、乾電池をお使いください。乾電池を使う場合でも、通常は AC100V で動作し、停電になると乾電池で動作します。乾電池をお使いになる場合は、次のことにご注意ください。

●使用する乾電池

単４アルカリ乾電池を６本、別途お買い求めください。指定以外の乾電池は使用しないでください。停電時に正常に機能しないことがあります。

●停電時の利用目安

新品の乾電池を装着し１年後に停電があったとき、停電が４時間以内であれば１回の通報ができます。この値は標準的なもので、温度やご利用のモードなどの条件により変わります。

乾電池をお使いにならない場合：

●停電によって、録音されたメッセージや登録した電話番号が消えることはありません。

●通報中に停電すると、その通報が完了していなくてもその通報は終了します。

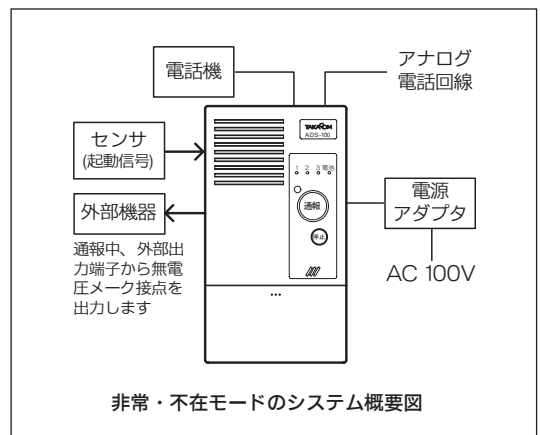
■システム概要

本装置は３つの動作モードを持っており、動作モードスイッチで切り替えます。

●非常

動作モードスイッチを「非常」の位置にあわせて使います。

- センサから起動信号がくるか、「通報」ボタンが押されると、予め登録した電話番号をダイヤルします。
- 通報先が電話に出ると、予め録音したメッセージを流します。また、通報先からのプッシュホン信号の操作で、本装置設置場所の音声モニターをしたり、通報先の音声を本装置から拡声することができます。
- 約４０秒間コールを行い通報先が電話に出ないときは、繰り返しダイヤルします。また、通報先が複数登録してあるときは、順にダイヤルします。
- 通報とは別に、外部から本装置に電話をかけてプッシュホン信号によるリモコン操作で、本装置設置場所の音声モニターをしたり、音声を本装置から拡声することができます。

電話機
アナログ電話回線
センサ(起動信号)
外部機器
通報中、外部出力端子から無電圧メーク接点を出力します
電源アダプタ
AC 100V

非常・不在モードのシステム概要図

●不在

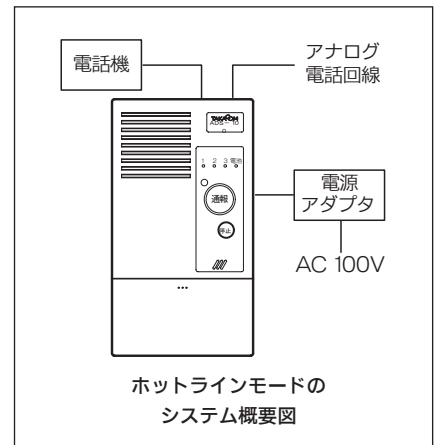
動作モードスイッチを「不在」の位置にあわせて使います。

- ◆外出するときに「通報」ボタンを押します。30秒間待機し、通報できる状態になります。
- ◆センサから起動信号がくると30秒間待機します。その間に「停止」ボタンが押されないと、登録した電話番号をダイヤルします。
- ◆通報先が電話に出ると、予め録音したメッセージを流します。また、通報先からのプッシュホン信号の操作で、本装置設置場所の音声モニターをしたり、通報先の音声を本装置から拡声することができます。
- ◆約40秒間コールを行い通報先が電話に出ないときは、繰り返しダイヤルします。また、通報先が複数登録してあるときは、順にダイヤルします。
- ◆通報とは別に、外部から本装置に電話をかけてプッシュホン信号によるリモコン操作で、本装置設置場所の音声モニターをしたり、音声を本装置から拡声することができます。

●ホットライン

動作モードスイッチを「ホットライン」の位置にあわせて使います。

- ◆接続した電話機の受話器を上げると、自動的にダイヤルします。
- ◆先方が電話に出ると通話をすることができます。
- ◆通報先が複数登録してあるときは､「通報」ボタンを押して切り替えます。
- ◆通話中に通話先からのプッシュホン信号によるリモコン操作で、外部出力端子に信号を出力することができます。

ホットラインモードの
システム概要図

■運用開始までの手順

1 **機能設定**（12ページ）
本装置裏面の機能設定スイッチで機能を変更することができます。ダイヤル方式は必ずご確認いただき、必要であれば切り替えてください。それ以外のスイッチは、切り替えなくても基本的な動作は問題なく行われます。

2 **機器の接続**（13ページ）
電話回線、電話機、電源の接続をします。必要であれば、センサ・外部機器も接続します。

3 **動作モードの切り替え**（13ページ）
動作モードスイッチを切り替えます。

4 **乾電池を入れる**（14ページ）
停電時でも通報や自動ダイヤルができるようにするため、乾電池を入れます。

5 **電話番号の登録**（8ページ）
通報先の電話番号を登録します。登録は、本装置に接続された電話機から行います。

6 **メッセージの録音**（8ページ）
先方が電話に出たときに伝えるメッセージを録音します。ホットラインモードのときはメッセージを流さない設定もできます。そのときは、録音は不要です。録音は、本装置に接続された電話機から行います。

7 **暗証番号の登録**（9ページ）
外部から本装置に電話をかけて設置場所のモニターをするときなど、リモコン操作をするときに使用する暗証番号を登録します。この機能を使わないときは登録の必要はありません。登録は、本装置に接続された電話機から行います。

各部の名前

後面

電源アダプタ
ジャック
(P13)

DC IN 9V

ケーブル排出口
(P13)

スピーカ
(P11)

TAKACOM
ADS−100

1～3ランプ
(P8,13)

電池ランプ
(P14)

通報ランプ
(P8,9,10,11,13)

通報ボタン
(P10,11)

停止ボタン
(P10)

ルームモニター用
内蔵マイク
(P11)

電池ボックス
ふた

登録スイッチ
(P8,9)

動作モードスイッチ
(P13)

通常　登録　非常　不在　ホットライン

スイッチ部分拡大図

ふたをはずすと

単四形×6

電池ボックス
(P14)

電池ボックスふたのはずし方

ここを押さえて、
手前に引きます。

持ち上げて、はず
します。

裏面

DC12V入力端子
(P13)

外部出力端子
(P13)

外部入力端子
(P13)

設定スイッチA
(P12)

設定スイッチB
(P12)

壁かけ用ネジ穴
(P13)

壁かけ用ネジ穴
(P13)

電話機ジャック
(P13)

回線ジャック
(P13)

制御ジャック
保守用のジャックで、通常は使用しません。

テープジャック
(P9,13)

DC12V
外部出力
外部入力
OFF ON
A
B
TEL
LINE
制御
TAPE

ワンポイント

名前のあとの数字は、そのボタンやランプなどの記述があるページです。

登録

最初に「登録の準備」の操作をし、そのあとそれぞれの登録・録音の操作をします。
最後に「登録の終了」の操作をします。

登録の準備

1 登録スイッチを「登録」の位置に切り替えます。

登録側に切り替えます。

通常 登録

通報

通報ランプがゆっくり点滅します。

2 本装置に接続されている電話機の受話器を上げます。

メニュー番号を押してください。

3

通報先2のダイヤル番号は、570200です。

登録した電話番号が聞こえます。

4
- ◆ほかの登録をする：該当の登録の手順１へ
- ◆登録を終わる：「登録の終了」へ

STOP お願い

- ● 登録にはプッシュホン信号を使います。本装置にはプッシュホン信号が出せる電話機を接続してください。
- ● プッシュホン信号を出す間隔を８秒以上あけないでください。それまでの登録がキャンセルされます。
- ● 通報中や乾電池で動作しているときは、「登録」に切り替えても登録はできません。

電話番号の登録

通報先の電話番号（３０桁以内）を登録します。最大３カ所（通報先１～通報先３）の登録が可能です。
例：通報先２に「５７－０２００」を登録します。

1 電話機で通報先番号＋［#］を押します。
この例では、［2］［#］と押します。

通報先１を登録するときは、［1］［#］
通報先３を登録するときは、［3］［#］

2 ガイダンスメッセージが終わったら、電話番号に続いて［#］を押します。
この例では、［5］［7］［0］［2］［0］［0］［#］と押します。

番号の途中で［*］を押すと、３秒間のポーズを登録することができます。

登録済みの番号を書き換えるとき
手順通り行うと、自動的に古い番号を消して新しい番号を登録します。

登録してある電話番号を確認するとき
手順１で［#］の代わりに［*］を押します。
例： 通報先１を確認するときは、［1］［*］と押します。

登録した電話番号を消去するとき
手順２で電話番号を入れずに［#］を押します。

ワンポイント

- ● 各通報先に同じ電話番号は登録できません。
- ● 登録の有無を「１」～「３」ランプの点灯状態で知ることができます。
  - ◆ すべてのランプが速い点滅
    通報先が全く登録されていません。
  - ◆ 特定のランプが消灯
    該当の通報先に電話番号が登録されていません。
  - ◆ 特定のランプが点灯
    該当の通報先に電話番号が登録されています。
- ● 構内交換機の内線に設置したときは、通報先番号の前に外線発信番号（通常は「０」）＋［*］（３秒間のポーズ）を付けて登録してください。
- ● 「BBフォン」ユーザーのときは、番号の前に「００００*」を追加してNTT経由で電話がかかるように登録してください。「BBフォン」経由の場合は正常に機能しません。

メッセージの録音

通報先が電話に出たときに流すメッセージ（４５秒以内）を録音します。

1 電話機で、［4］［#］と押します。

2 ガイダンスメッセージが終わったら［⁎］を押し、信号音（ピッピッピッピッピッピー）のあとで、受話器に向かってメッセージを話します。

緊急通報。こちらは、XXです。……

3 メッセージを話し終わったら、［#］を押します。

緊急通報。こちらは、XXです。……

録音したメッセージが自動再生されます。

4 ◆ほかの登録をする：該当の登録の手順１へ
◆登録を終わる：「登録の終了」へ

録音済みのメッセージを録音し直すとき
手順通りに行うと、自動的に古いメッセージを消去して新しいメッセージを録音します。

録音してあるメッセージを再生するとき
手順１で［4］［⁎］と押します。

録音してあるメッセージを消去するとき
手順２で［#］を押します。

ワンポイント

● メッセージの状態を通報ランプで知ることができます。（「登録」スイッチは「通常」の位置 ）
　消灯：録音の必要はありません。
　速い点滅：録音が必要です。
● テープジャックにテープレコーダなどの外部音源を接続しておくと、受話器からの音声ではなく外部音源の音声を録音します。

暗証番号の登録

リモコン操作に必要な暗証番号（４桁）を登録します。
例：「１２３４」と登録します。

1 電話機で、［5］［#］と押します。

2 ガイダンスメッセージが終わったら、暗証番号を順に押します。
この例では、［1］［2］［3］［4］と押します。

3 暗証番号は1234です。

登録した暗証番号が聞こえます。

4 ◆ほかの登録をする：該当の登録の手順１へ
◆登録を終わる：「登録の終了」へ

登録済みの番号を書き換えるとき
手順通り行うと、自動的に古い番号を消して新しい番号を登録します。

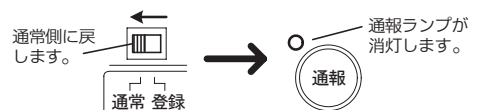
登録してある暗証番号を確認するとき
手順１で［5］［⁎］と押します。

暗証番号を消去するとき
手順２で番号を入れずに［#］を押します。

登録の終了

1 受話器を下ろします。

2 登録スイッチを「通常」に戻します。

通常側に戻します。
通常 登録
通報ランプが消灯します。
通報

非常モード

「お使いになる前に　運用開始までの手順」（５ページ）に従って準備をしてください。
上記の準備をしておけば、そのあとの操作は必要ありません。

通報

１ 次のいずれかのときに予め登録した電話番号をダイヤルします。
◆外部入力端子に接続されたセンサなどの機器から、起動信号（無電圧メーク接点）がきたとき。
◆本装置の「通報」ボタンが押されたとき。
２ 先方が電話に出ると予め録音したメッセージを流します。
３ メッセージ後１０秒のポーズを取って回線を切断します。

通報中：
◆通報ランプが点滅します。
◆ダイヤルをしている通報先のランプ（「1」～「3」のうちのひとつ）が点滅します。
◆外部出力端子に信号（無電圧メーク接点）を出力します。通報が終わると信号（無電圧メーク接点）が止まります。
◆「停止」ボタンを２秒間押すと通報を中止し、通報ランプが消灯します。

◆先方が電話に出ないときの動作
ワンポイント「先方が電話に出ないとき」（１１ページ）をご参照ください。
◆電話に出たときに設置場所の音声をモニターすることができます。
ワンポイント「ルームモニター／音声拡声機能」（１１ページ）をご参照ください。
◆出先から本装置に電話をかけ、設置場所の音声モニターをすることができます。
ワンポイント「リモコン操作」（１１ページ）をご参照ください。
◆動作条件を変更することができます。
「機器の準備　機能設定スイッチ」（１２ページ）をご参照ください。

不在モード

「お使いになる前に　運用開始までの手順」（５ページ）に従って準備をしてください。

起動信号を受信する準備

不在にするときに「通報」ボタンを押します。

通報

◆３０秒間通報ランプが点滅し、準備中であることを知らせます。この間に施錠し、退出してください。
◆準備中はセンサからの起動信号は無視されます。
◆３０秒経過すると、通報ランプが点滅から点灯に変わり通報待機になります。

通報

１ 外部入力端子に接続されたセンサなどの機器から、起動信号（無電圧メーク接点）がくると３０秒間通報ランプが点滅します。この間に「停止」ボタンを２秒間押さないと、予め登録した電話番号をダイヤルします。
◆センサの起動信号に代わって本装置の「通報」ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。３０秒間の待機はありません。
２ 先方が電話に出ると予め録音したメッセージを流します。
３ メッセージ後１０秒のポーズを取って回線を切断します。

通報中：
◆通報ランプが点滅します。
◆ダイヤルをしている通報先のランプ（「1」～「3」のうちのひとつ）が点滅します。
◆外部出力端子に信号（無電圧メーク接点）を出力します。通報が終わると信号（無電圧メーク接点）が止まります。
◆「停止」ボタンを２秒間押すと通報を中止し、通報ランプが消灯します。

起動信号の受信をやめる

「停止」ボタンを２秒間押します。
◆通報ランプが消灯します。

停止　2秒間押す

◆先方が電話に出ないときの動作
ワンポイント「先方が電話に出ないとき」（１１ページ）をご参照ください。
◆電話に出たときに設置場所の音声をモニターすることができます。
ワンポイント「ルームモニター／音声拡声機能」（１１ページ）をご参照ください。
◆出先から本装置に電話をかけ、設置場所の音声モニターをすることができます。
ワンポイント「リモコン操作」（１１ページ）をご参照ください。
◆動作条件を変更することができます。
「機器の準備　機能設定スイッチ」（１２ページ）をご参照ください。

ワンポイント

●先方が電話に出ないとき（非常、不在モード）
電話番号をダイヤル後、次のいずれかの条件になると本装置は、一旦電話を切ります。
①ダイヤル後４０秒経過したとき
②先方が話し中のとき
複数の電話番号が登録してあるときは、５秒間の待機後、次の通報先の電話番号をダイヤルします。一回りしてまだ通報が完了しないときは、６０秒間の待機後、次の一回りのダイヤルをします。
電話番号の登録が１つのときは、６０秒間待って２回目のダイヤルをします。
通報が完了するまで、最大３回または無制限に繰り返し電話をかけます。
- 通報完了の条件は機能設定スイッチ A-2 で切り替えます。
- 通報繰り返しの条件は機能設定スイッチ A-3 で切り替えます。

第1回目　　第2回目
通報先1 →(5秒) 通報先2 →(5秒) 通報先3 →(60秒) 通報先1 ---

●ルームモニター／音声拡声機能（非常、不在モード）
メッセージ送出中またはメッセージ送出後のポーズ期間中に、通報先から次のプッシュホン信号をダイヤルします。
［＊］　本装置の「ルームモニター用内蔵マイク」をとおして、設置場所の音声をひろいます。
［#］　通報先の受話器から話した音声を、本装置のスピーカから拡声します。
操作が終わったら電話を切ります。

●リモコン操作（非常、不在モード）
本装置に電話をかけ、ルームモニターと音声拡声ができます。
- 予め機能設定スイッチ B-5 を「ON」に切り替え、暗証番号を登録しておきます。
- 不在モードのときは、「通報」ランプが点灯していないとこの機能は使えません。

手順：
1 本装置に電話をかけます。
- ベル３回の後、本装置が応答しメッセージが聞こえてきます。

2 予め登録した「暗証番号」のプッシュホン信号をダイヤルします。
- 暗証番号が合致するとメッセージが止まり信号音が聞こえます。

3 ルームモニター／音声拡声機能のプッシュホン信号をダイヤルします。（上記の「ルームモニター／音声拡声機能」をご参照ください。）

ホットラインモード

「お使いになる前に　運用開始までの手順」（５ページ）に従って準備をしてください。

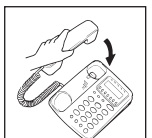
通報先の切り替え

予め３カ所の通報先を登録することができます。待機中に「通報」ボタンを２秒間押すと、通報先が切り替わります。（「１」～「３」ランプの点滅状態が変わります。）

- 「１」～「３」ランプのうち、点滅している番号が現在有効になっている通報先です。
- ランプが消灯している通報先には、電話番号が登録されていません。
- 点滅しているランプがないとき（点灯と、消灯だけのとき）は自動ダイヤルはしません。受話器を上げて、通常どおりダイヤルしてご利用ください。

自動ダイヤル・通話

1 接続された電話機の受話器を上げます。
- 予め登録した電話番号をダイヤルします。
- 先方が電話に出ると、先方には予め録音したメッセージが流れます。
- 通話ができます。

2 受話器を戻すと、通話が終了します。

ダイヤル・通話中は
- 自動ダイヤル中は、通報ランプが点滅します。
- 先方が電話に出て通話中は、通報ランプが点灯します。
- 先方が話し中の場合、受話器から一旦呼び出し音が聞こえますが途中で話し中の音に変わります。
- 通話中にリモコン操作で、外部出力端子に信号（無電圧メーク接点）を２秒間出力できます。

- 動作条件を変更することができます。
「機器の準備　機能設定スイッチ」（１２ページ）をご参照ください。

ワンポイント

●リモコン操作（ホットラインモード）
手順：
1 通話先から予め登録した「暗証番号」のプッシュホン信号をダイヤルします。
- 暗証番号が合致すると２秒間の信号音が聞こえます。

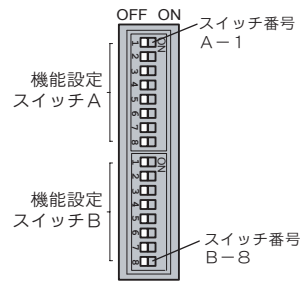
2 プッシュホン信号「１」をダイヤルします。
- ２秒間の信号音が聞こえ、その間、外部出力端子に信号（無電圧メーク接点）を出力します。

機器の準備

機能設定スイッチ

本体裏面の機能設定スイッチを切り替えて本装置の機能の一部を変更することができます。スイッチの番号と変更できる機能は表のようになっています。

OFF ON
スイッチ番号 A－1
機能設定 スイッチA
機能設定 スイッチB
スイッチ番号 B－8

- 特定モードの機能だけに有効なスイッチがあります。例えば、「機能設定スイッチＡ－２」は非常と不在モードに有効で、ホットラインモードでは無効です。
- スイッチは左側が「OFF」で、工場出荷時は全て「OFF」の位置になっています。
- 機能を変更するときは、ボールペンの先などで該当番号のスイッチを切り替えます。

■機能設定スイッチＡ

番号	内容	OFF 側	ON 側	使用する動作モード		
				非常	不在	ホットライン
A-1	接続する回線のダイヤル方式	パルス方式	トーン方式	○	○	○
A-2	通報が完了する条件	１つの通報先が応答	全ての通報先が応答	○	○	×
A-3	通報を繰り返す回数	Ａ－２の条件を満たすまで繰り返すが、最大３回までで終了	Ａ－２の条件を満たすまで無制限で繰り返す	○	○	×
A-4	通報先が電話に出たときに流すメッセージの繰り返し回数	１回	３回	○	○	×
A-5	通報時などに本装置のスピーカで回線のモニターをする／しない	しない	する	○	○	×
A-6	通報先が電話に出てメッセージを流したあとの動作	１０秒間のポーズ後、回線を切断する	自動的にルームモニターをする	○	○	×
A-7	ルームモニターをしている時間（この間に有効なプッシュホン信号コマンドが入力されないと回線が切れる）	３分	３０秒	○	○	×
A-8	通報ボタンを押したときとセンサから起動信号が来たときに、通報するまでの遅延時間	３０秒	６０秒	×	○	×

■機能設定スイッチＢ

番号	内容		OFF 側	ON 側	使用する動作モード		
					非常	不在	ホットライン
B-1	先方が電話に出たときにメッセージを流す／流さない		１回流す	流さない	×	×	○
B-2	電話機で通話中に通報状態になったら、通話と通報のどちらを優先するか		通話が終わるまで、通報しない	通話を強制的に終了（切断）し、通報する	○	○	×
B-3	外部出力端子に信号を出すタイミング	非常、不在モード	通報が始まったとき	通報先から、プッシュホン信号「１」がきたとき	○	○	○
		ホットラインモード	通報先から、暗証番号のあとプッシュホン信号「１」がきたとき２秒間出す	通報が始まると信号を出す			
B-4	外部出力端子の信号を復旧するタイミング		通報が終わったとき	通報先から、プッシュホン信号「３」がきたとき	○	○	×
B-5	電話がかかってきたときに本装置が自動応答する／しない		応答しない	ベル３回の後応答し、固定の応答メッセージを流す	○	○	×
B-6	ベル信号の検出条件		800ミリ秒の OFF が必要	400ミリ秒の OFF が必要	○	○	×
B-7	先方が応答したことを判定する条件		回線の極性リバースだけを使う	回線の極性リバースと音声検出を併用する	○	○	○
B-8	通報先電話番号の桁数		NTT 回線用	構内交換機内線用	○	○	○

■スイッチを設定するときの注意点

B-3： 非常、不在モードのときと、ホットラインモードのときで機能が異なります。
・非常、不在モード---------ON にすると、通報中に通報先からプッシュホン信号「１」を入ると信号が出ます。
・ホットラインモード-------ON にすると、通報中に信号が出て、通報が終了すると復旧します。

B-4： ON にしたときは、通報中またはリモコン操作中に通報先からプッシュホン信号「３」を入れると信号が復旧します。プッシュホン信号を入れないと復旧しないのでご注意ください。

B-6、B-7、B-8：構内交換機内線などの NTT 回線以外でお使いになるときの設定です。変更すると正常に機能しないことがありますので、切り替える前に販売店または当社営業所にご相談ください。

機器の接続

どちらか一方を使います

電源アダプタ
(添付品)

AC 100V

電源アダプタジャック

DC12Vを接続
- 電源アダプタを使用せず、直接、直流電源を接続するときに使用します
- 電源容量：DC12V±1V, 300mA以上
- ＋/－の極性にご注意ください

外部機器を接続
- 通報中、無電圧メーク接点を出力します
- 接点容量：DC30V, 500mA

センサ（起動信号）を接続
- 無電圧メーク接点が入力されると、通報を始めます
- 接点容量：DC10V, 10mA以上
- ホットラインモードのときは使用しません

- 電話機は必ずこの「TEL」端子に接続してください
- 電話番号の登録などにプッシュホン信号を使います。プッシュホン信号が出せる電話機を接続してください。

電話機

アナログ
電話回線

外部音源
- 外部のテープレコーダなどからメッセージを録音するときに接続します。
- インピーダンス47kΩ、入力レベル0dBm
- ジャックの仕様：3.5φミニジャック
- 機器接続用のコードは別途お買い求めください

DC 12V
外部出力
外部入力
TEL
LINE
OFF ON
A
B
制御
TAPE

ワンポイント

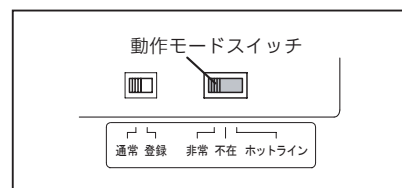
最初に電源を接続すると「１」～「３」と「通報」ランプが点滅し、また３０秒間「ピッピッ」と音がします。これは、登録が必要な状態であること表すサインで、登録モードにすると止まります。登録モードについては８ページをご覧ください。

動作モードの切り替え

電池ボックス内の動作モードスイッチを切り替えます。
お使いになっている途中でモードを切り替える場合、モード固有の登録変更や、メッセージなどがありますので、ご注意ください。

● 電池ボックスふたの開け方は６ページをご覧ください。

動作モードスイッチ

通常 登録　非常 不在 ホットライン

乾電池を入れる

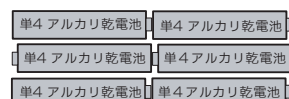
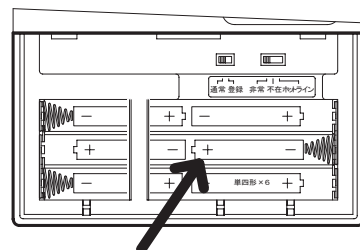
乾電池を入れておくと停電などで外部からの電源供給が止まっても通報することができます。

◆停電時の本装置の機能を維持するため、停電がなくても１年に１回程度の割合で乾電池を新品と入れ替えてください。
◆指定以外の乾電池は使用しないでください。
◆新しい電池と古い電池を混在で使用しないでください。
◆一度本装置から取り出した乾電池や、ほかの機器で使用した乾電池は使用しないでください。

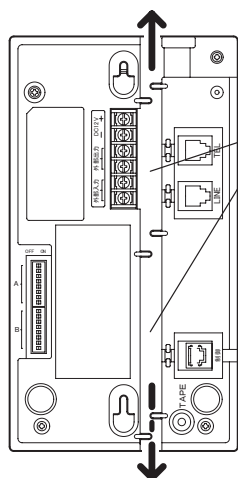
乾電池をお使いにならない場合は停電時に通報することはできませんが、登録した電話番号や録音したメッセージが停電によって消えることはありません。

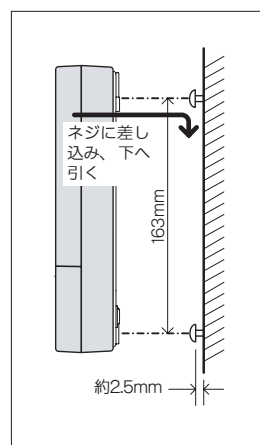
●電池ランプ

乾電池の状態を点灯状態でお知らせします。

◆消灯：電池が入っていないか、または、完全に消耗しています。交換してください。
◆点滅：電池がなくなりかけています。停電時に通報ができない場合がありますので交換してください。
◆点灯：正常です。

● 単４アルカリ乾電池６本を装着します。
● ケース内部に表示された極性（＋と－）と電池の極性を合わせてください。
● 電池ボックスふたの開け方は６ページをご覧ください。
● 電池は、電源を接続後装着してください。電池を入れた時点で本装置は稼働し、電池を消費します。

ワンポイント

■ケーブル類の処理■

■壁掛けにするとき

1 添付のネジ２本を163mmの間隔で、柱やしっかりした壁に、垂直に締め付けます。ネジと取り付け面は約2.5mm開けてください。
2 本体底面の壁かけ用ネジ穴に、ネジの頭を差し込み、下へ引いてください。

お願い

合板や石膏ボードなどの薄い板壁には直接取り付けないでください。はずれて落下するおそれがあります。

主な仕様

項目		仕様
電話回線	収容回線数	１回線
	回線種別	アナログ一般回線
	接続方式	モジュラージャック
通報先	登録数	最大３カ所
	登録桁数	最大３０桁
メッセージ	録音数	１メッセージ
	録音時間	約４５秒
テープジャック	形状	3.5 φミニジャック
	インピーダンス	47k Ω
	入力レベル	0dBm
外部入力端子		無電圧メーク入力、200 ﾐﾘ秒以上（接点容量：DC10V、10mA 以上）
外部出力端子		無電圧メーク出力（接点容量：DC30V、500mA）
外形寸法（突起部を含みません）		幅 110mm × 奥行き 200mm × 高さ 40mm
質量（電池を含みません）		約 400 g
AC 電源	電圧・周波数	AC100V ± 10V、50/60Hz
	消費電力	最大３W
DC 電源	電圧・容量	DC12V ± 1V、300mA
乾電池	種類・本数	単４アルカリ乾電池、６本
	停電時の利用目安	新品の乾電池を実装し１年後に停電したとき停電が４時間以内なら１回の通報ができます（標準的な値で、温度などの条件により変わります）

故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	参考ページ
登録や、メッセージの録音ができない	登録スイッチは「登録」側になっていますか？	8
	停電などで、電池で動作していませんか？	8
	プッシュホン信号が出せる電話機を接続していますか？	8
呼出１～３のランプが速い点滅をして正常に動作しない	通報先は登録されていますか？	8
通報ランプが速い点滅をして正常に動作しない	メッセージは録音されていますか？	8
ダイヤルしているように見えるが先方につながらない	ダイヤルの方式はあっていますか？	12
通報や自動ダイヤルをしない。通報ランプがゆっくり点滅している	登録スイッチは「通常」側になっていますか？	9
ホットラインモードで、受話器を上げても自動ダイヤルしない	通報先は選択されていますか？	11

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社営業所に修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社営業所へお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発着信などの利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名 / 保証期間		マルチ通報機 ADS-100 / お買いあげ日から 1 年間
お買いあげ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名称	
	所在地	〒
	電話番号	

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社営業所が無料修理いたします。
2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社営業所に製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
⑩ 乾電池の液漏れによる故障を修理した場合
4 この保証書は、日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社営業所にご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811
受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 〈土・日曜日、祝日、弊社指定休日除く〉

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または弊社「修理センター」へお問い合わせください。
弊社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。　株式会社タカコム　検索

株式会社タカコム　本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

支店／営業所名	住所、電話番号	担当地区
東京支店	〒 103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-9-8（日本橋 MS ビル） 電話：03-5651-2281	関東、甲信越地区
札幌出張所	〒 060-0061 札幌市中央区南 1 条西 10 丁目 4-167（小六第一ビル） 電話：011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-10（仙台北辰ビル SEED21） 電話：022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒 464-0075 名古屋市千種区内山 3-10-17（今池セントラルビル） 電話：052-734-6601	東海、北陸地区
大阪営業所	〒 542-0081 大阪市中央区南船場 2-5-23（自重堂ビル） 電話：06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒 733-0021 広島市西区上天満町 3-19（第 2 横山ビル） 電話：082-291-6400	中国、四国地区
福岡営業所	〒 812-0042 福岡市博多区豊 1-3-14（佐藤ビル） 電話：092-431-1942	九州地区、沖縄県

P1GG02501908R　Mar. 2011